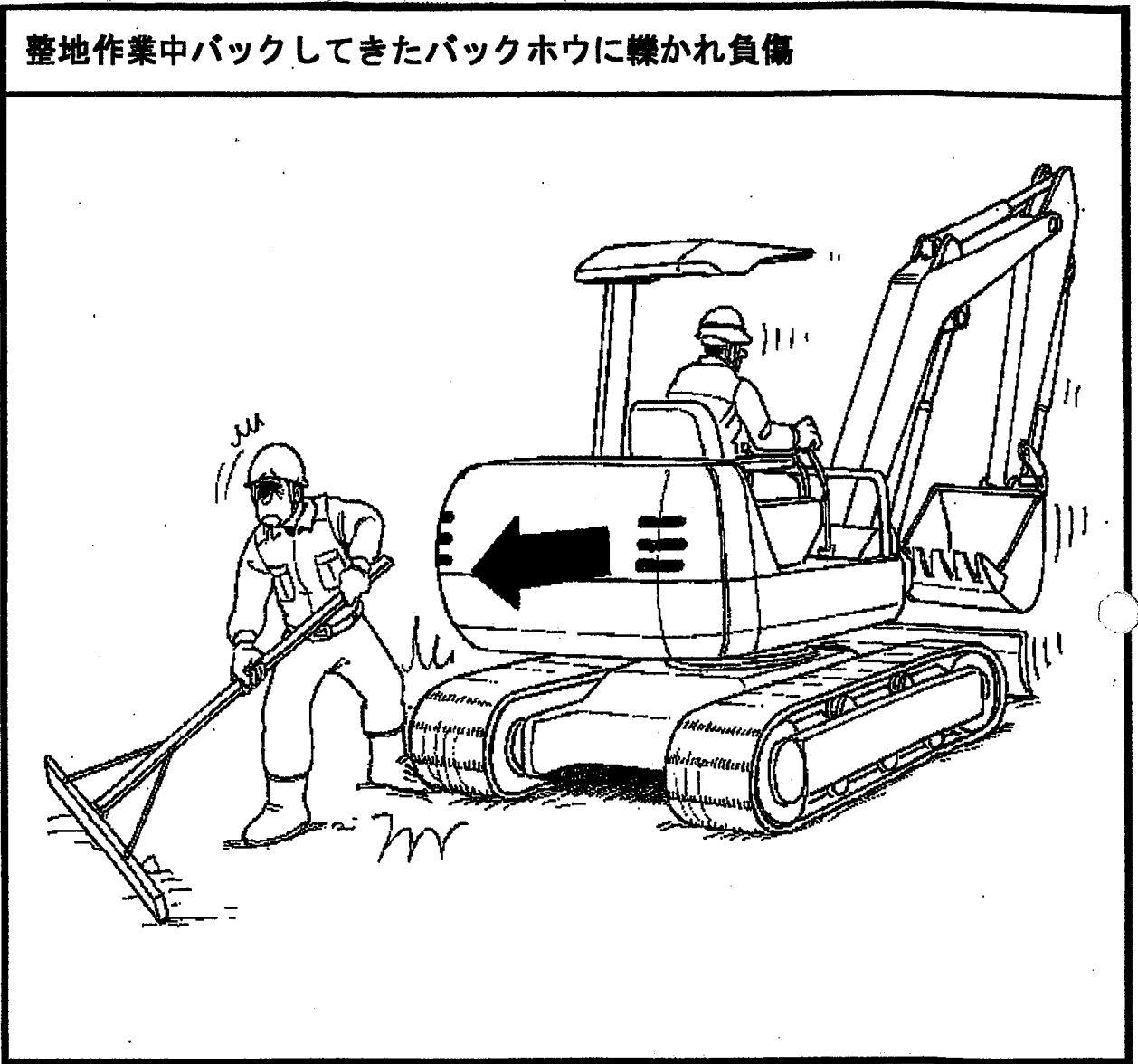
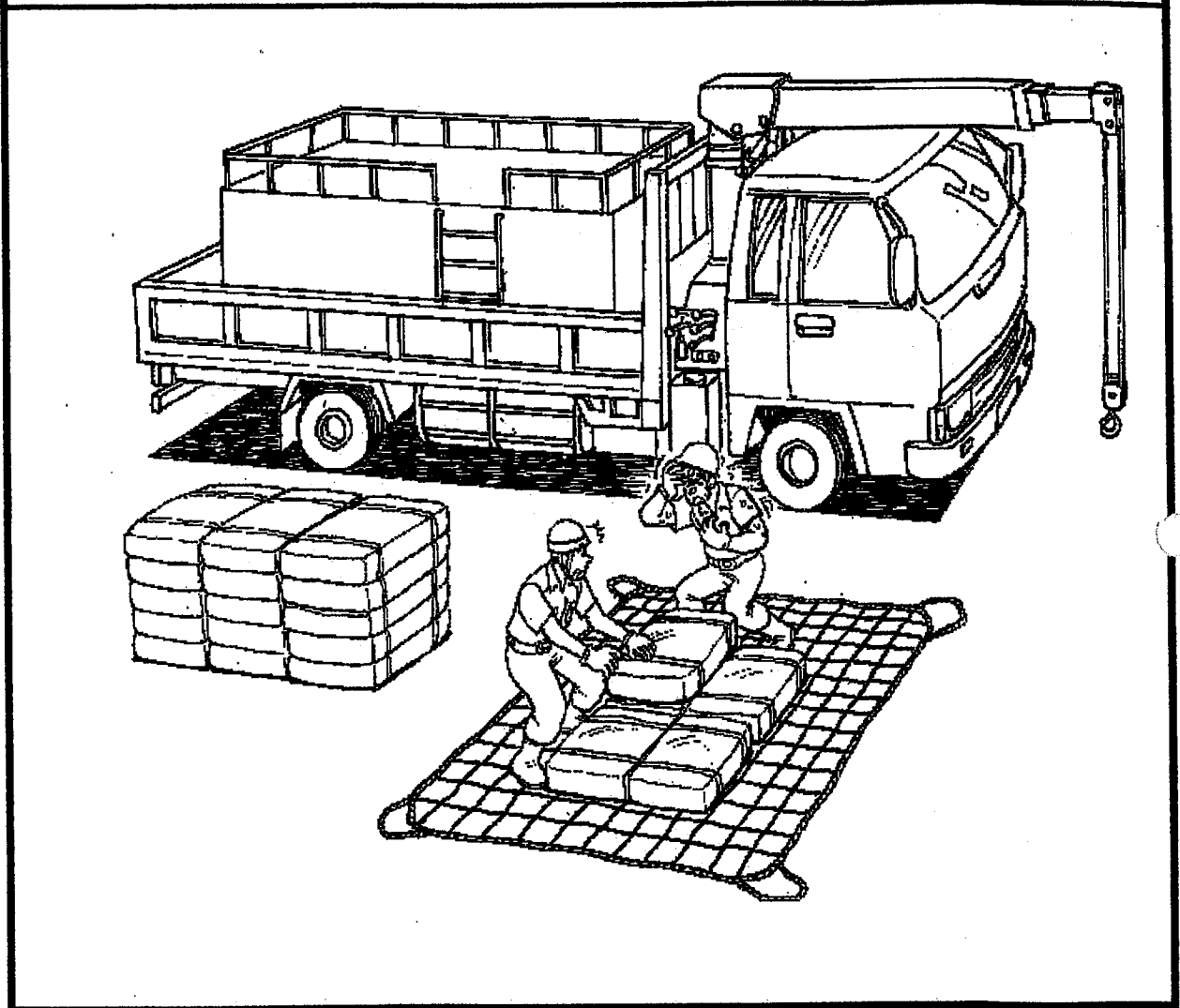


整地作業中バックしてきたバックホウに轢かれ負傷



建築	工種: 屋外工事	事故の型: 激突され
事故の分類	発生日時・天候: 2001.3.7 (水) 9:00 晴	起因物: バックホウ
	被災内容: 左下肢圧挫創血腫	損失日数: 11日
	職 種: 普通作業員	請負関係: 3次
事故の発生状況	経 験: 8年0ヵ月	年 齢: 38才 (男)
	発生状況	被災者がトンボを使い整地作業をしていたところ、職長の運転するバックホウ (2 t) がバックしてきて、後向きで作業をしていた被災者にぶつかり、バックホウが被災者の左足に乗り上げ、負傷した。
	原因	重機旋回範囲が立入禁止されていなかった。 被災者は重機旋回範囲内に入った。
対策	対策	重機旋回範囲は確実に立入禁止措置を行う。 重機旋回範囲には絶対に入らない。

吹付用の種子袋を運搬中に熱中症（死亡災害）



建築	工種: 屋外工事	事故の型: 高温・低温の物との接触
事故の分類	発生日時・天候: 2000.8.2 (水) 11:30 晴	起因物: 異常気温
	被災内容: 熱中症	損失日数: 7500日
	職 種: 普通作業員	請負関係: 3次
事故の発生状況	経 験: 20年0ヵ月	年 齢: 46才(男)
	発生状況	被災者は午前11時30分頃、吹付用の種子袋をユニック車上に載せる為、荷積み場所から移動中に気分が悪くなり、近くの車内で休憩した。12時15分頃症状が改善しないため病院に搬送、軽い熱中症との診断であった。17時頃病状が悪化し、21時頃死亡。当日の気温は31度、天候は晴・弱風、休憩と水分補給は充分であった。
	原因	
対策	高温時は、十分な休憩と水分を確保し、無理をしない。 高温時は特に、職長・社員は作業員の体調を管理する。	